

中村支所管内より



早乙女衣装で田植え体験

マデリン アームストロング
Madeleine Armstrongさん(29)

日本に来て4年になるマデリンさん。この日は大用中学校の生徒たちと田植え式に参加しました。現在、市内5校の小・中学校に勤務しています。「子どもたちはとても親切で、楽しくフレンドリー。学校にも安心して通っています。これからも、英語の授業をしながら文化を伝えたり、楽しく教えたり、たくさんコミュニケーションをとっていきたい」と笑顔で話しました。

たよりになるお孫さんと一緒に出荷

伊勢脇 純子さん(70)
恭兵さん(15)

JAグリーン四万十店に毎日出荷しています。冬はイチゴ、夏はシトウを中心に葉ものなども季節に応じて出荷しています。お店が新しくなってお客さんも増えたと感じます。売れ行きも良く販売数も増えたと、職員の方にも親切にしてくれありがたいです。

中村支所管内より



幡多地区

から こんにちは 今月の〇〇 気になる人

宿毛支所管内より



わきあいあいと楽しいです

谷岡 豊子さん
堀岡 弘子さん

宿毛東出張所の隣、山奈ふれあい市で週2、3回当番しています。開店時間は平日の7時30分から14時まで。地元で採れた野菜やお花、手作りのお寿司に惣菜、手作りのみそや三原の豆腐、日用雑貨などもあります。今日は天気が悪く客入りも少ないと思いましたが、午前中のうちに早めに売れてしまいました。立派なお花や元気な野菜がお安いですよ。

体もあちこち痛くなって当番は大変ですが、お客さんと話して楽しい。ポケ防止にもなっています！

女性大学「はた小町」

～あぐりコース～
女性大学受講者の皆さん

幡多地区本部は5月26日、女性大学「あぐりコース」を開きました。第1回目は女性部員6人が参加し、畝立て、マルチ張りなど野菜づくりの基本作業を行いました。

営農指導員のもと、全部で13本の畝が完成しました。各々が畝を管理し、選んだ野菜を植え付け栽培します。

参加者は「作業は楽しかった。収穫できるよう頑張りたい」と意気込みました。次回は6月9日に営農指導員による講義のあと、畑で苗の植え付け実習を行う予定です。

幡多地区より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 大正支所 パステルアート体験 女性部大正支部



完成した作品を手にする部員の皆さん

女性部幡多地区大正支部は5月24日、(株)メモリアルここの櫻本智子さんを招きパステルアート教室を開きました。パステルアートは、ステンシルという型を使って指で自由に描きます。安価な道具で始められ、飾るだけでなく、葉書に描いて送ることもできます。櫻本さんは「心の赴くままに描くものを決め、構成や配色を選ぶとその時の心の中が不思議と表される」と話しました。この日はアジサイをテーマに描きました。参加した部員は「初めてだったが楽しかった。またぜひ参加したい」と充実した様子で話しました。

3 幡多地区 家の光編集部が 女性部のお弁当製造・販売を取材



取材撮影を受ける部員の皆さん

JAGグリーン四万十店にお弁当の製造・販売している幡多地区女性部の活動が5月25日、家の光編集部の取材で取り上げられました。月刊「家の光」西日本版「ざらりハイモニー」という連載で、地域を元気にする女性たちやグループの取り組み、活躍が紹介されます。この日は北幡チームが担当でした。女性部清水元子部長は「色んな方面で取り上げられて嬉しいが、この活動も幡多地区女性部一丸となってスタートしみんなの協力があつたからこそできた」と話しました。取材内容は「家の光9月号」で掲載される予定です。

6 幡多地区 今年度事業前向きに始動 幡多地区女性部支部長会



活動内容を話し合う支部長の皆さん

幡多地区女性部は5月13日、第1回女性部支部長会を開きました。各支所の支部長や事務局など23人が参加しました。JAGグリーン四万十店のお弁当や総菜の販売実績を伸ばすため意見を出し合い、製造過程の衛生管理や食品表示の徹底など注意事項を確認しました。また、二来店する多くのお客様に、お弁当や総菜の製造・販売日が分かるよう、外に垂れ幕を掛けるなどの工夫をして、より多くのお客様に知っていただく協議も行いました。伊与田末子副部長は、「活発な意見交換ができた。大変充実した会になった」と話しました。

4 幡多地区 新人職員が農作業体験



畝作りの作業をする職員ら

幡多地区本部では5月26日、入組2年以内の職員による農業研修を行いました。営農指導員のもと管理機や鍬を使って畝を作り、マルチを張った後、シヨウガとカボチャの苗を植えました。カボチャは9月に青壮年部西土佐支部が開く、カボチャの重量などを競う「がいびっくりたまげた大会」に出品する予定です。新入職員は「思っていた以上に作業で体力を消耗した。少しでも生産者の苦労を知ることができた」と話しました。次回の研修は、さつま芋の定植を予定しています。



酒米「吟の夢」を手植える生徒の皆さん

1 中村支所

「酒米 吟の夢」豊作を願って とみやま酒米生産部田植え式

青壮年部幡多本部西土佐支部は5月14日、四万十市立西土佐中学校2年生15人と教員を対象に米ナスの定植講習を行いました。同中学校の総合学習の一環で、地域との関わり、課題を見つけ学びます。同中学校の井上忠和先生が米ナス部会の作成したポスターを見て、地元米ナス農家で同支部副部長の松浦伸さんに依頼し、講習が実現しました。松浦さんと、支部長の新玉誠さん、北幡営農センターの新改一樹指導員が指導しました。新改指導員が定植の手順を説明した後、松浦さんらの指導のもと畝立て



植え付けの作業をする生徒の皆さん

2 西土佐支所

中学校で米ナス講習・青壮年部西土佐支部

収穫は6月中旬の予定で、自分たちで料理するか、地元の直販所での販売等検討しています。

初心者（家庭菜園）向け ニンジンを作ろう！



栽培のポイント

- 土壌に対する適応性は広いが、よく肥えた水はけのよい圃場が適している。
- ニンジン葉が小さい上に、初期の育ちが大変遅いので小さいうちは草が生えやすく、除草が遅れると草に負けるので早めに除草する。

【栽培暦】 ○:播種 —:生育 ■:収穫

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作付け計画	夏まき	春まき										
			○	○			○	○	○	○	○	○
												■

① 畑の準備

- 種まきの10～15日前に元肥（1㎡当たり有機1号ペレット200g）を入れ深く耕す。
- 水はけが悪いと根腐れを起こすので、このような畑は避ける。そして前作にネマトーダの発生が多く見られた畑も避けた方がよい。
- 畝は一般には30cm程度の1条まきと60cm程度の2条まきがある。

② 種まき

- クワ幅程度のまき床に1.5～2cm間隔にまんべんなくまく。
- 種まきは降雨後か灌水を十分に行い土壌が適度の湿りの時に行う。
- 覆土はなるべく薄くして、モミガラや切りワラをやって乾燥降雨による害を防ぐ。

③ 間引き

- 1回日本葉1～2枚の頃、蜜生部分をわずかに間引く。株の間を1cmくらいに。
- 2回日本葉4枚くらい、生育の遅れたものと早すぎるものを除いて、株の間を4～5cmにする。
- 3回日本葉6枚頃、株間を10～12cmの間隔になるようにする。



④ 中耕・土寄せ

- 肥え切れすると肥大が悪くなるので、最終間引きの後、追肥（1㎡当たり千代田化成20g）し中耕して土寄せする。

⑤ 収穫

- 品種に応じた収穫をする。収穫が遅れると裂根が多くなるので注意する。



えい|の|う|～

キュウリ黄化えそ病の対策

幡多地域におけるキュウリは、栽培面積19.2ha、戸数88戸（令和2年度時点）で管内販売金額1位の基幹品目です。

近年ミナミキイロアザミウマ（スリップス）が媒介する黄化えそ病の被害による減収が深刻な問題となっていたため、幡多農業振興センターはJA高知県幡多地区と連携し、「黄化えそ病対策マニュアル」を作成しました。作成したマニュアルを基に、発病株の早期抜き取り及び効果的な薬剤のローテーション散布等の黄化えそ病対策に取り組んだ結果管内での黄化えそ病被害が甚大な圃場の割合は32%（令和元年度）から20%（令和2年度）※と低減しました（※令和元々2年度実施の幡多管内における促成キュウリ農家のアンケート調査より）。

今後も、幡多農業振興セン

ターはJA高知県幡多地区と連携し、黄化えそ病対策マニュアルに沿った対策を周知・指導し、生産者の方々に取り組んでもらうことで、さらなる黄化えそ病被害の軽減を目指していきます。

【黄化えそ病とは】
ウリ科植物が病原ウイルスのMelon yellow spot virus (MYSV) に感染することで発症し、葉がモザイク状に透け、進行すると葉の全体が黄化し、やがて枯死します。また、果実にもモザイク症や奇形をおこすことがあります。

このウイルスは、ミナミキイロアザミウマが吸汁することで、健全な株に伝染すると考えられています。土壌伝染や種子伝染はせず、管理作業などによる接触伝染の可能性は低いです。

【令和3年度幡多農業振興センターの取組計画】

7月 8月 9月	(促成・抑制作型共通) ・黄化えそ病対策マニュアル（改定案）の周知 ・防虫ネットの設置方法指導（抑制作型） ・ミナミキイロアザミウマ防除指導、発病株の抜き取り指導
10月	(促成・抑制作型共通) ・ミナミキイロアザミウマ防除指導、発病株の抜き取り指導（抑制作型） ・病害発生状況の調査、作終了時の防除
11月 12月 1月 2月 3月	(促成作型) ・ミナミキイロアザミウマ防除指導、発病株の抜き取り指導



黄化えそ病
キュウリの葉の黄化状態



ミナミキイロアザミウマ
体調1mm程度

【被害を増やさないためのポイント】
・黄化えそ病にかかった株はできるだけ早く抜き取りましょう。また、抜き取り後はビニール袋に入れて密封し、株の枯死及びミナミアザミウマを死滅させることで、周りの圃場に移さないようにしましょう。

・媒介するミナミキイロアザミウマを防除しましょう。

・圃場周辺の雑草は除去しましょう。ミナミキイロアザミウマの繁殖場所になります。

幡多農業振興センター 伊藤 諒 (0880-3417070)

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

家庭菜園大変役立つています。雨降りは畑に行けないのでJAに買い物に行きます。晴れた日も行きますよ。種も買うので。

(中村支所管内・74歳)

ナス、ゴーヤ、ミニトマト、ジャガイモ、ニラ、ネギ、ズッキーニ、シヨウガ、ミヨウガ、インゲン、キュウリ、チマサンチュ、ピーマン、ブロッコリー、カボチャ。我が家の家庭菜園は今のところこの様な野菜類が育っています。タマネギ、ニンニクは収穫済みです。オクラはザンネン！なことに6月半ば頃からは種まき(ニンジンなど)の予定です。

(中村支所管内・70歳)

▼家庭菜園のコナーを参考にしてください。さりありがとうございます。すぐに活用して頂けるように購読時期に植え付けする野菜を選ぶようにしています。

コロナ禍で人とふれあう機会がめっきり少なくなりました。近隣の市町村ではワクチン接種が始まったのに、我が町はまだ連絡なし……。そんな中、「こうぐり」を読ませていただくのが楽しみの二つになっています。JA高知県に決意新たに47名が入組とありました。とても嬉しいことです。活躍を期待しています。

(大方支所管内・71歳)

▼お便りを読んでいるのは6月初めで1か月ほど時差がありますが、現在ワクチン接種はどうでしょうか。無事接種できましたか？こうぐりを楽しんでくださりありがとうございます。ご期待に沿えるよう楽しんでもらえる記事を書きたいと思えます。

毎月こうぐりを楽しみにしております。薬用菌みがきアパナチュール知りませんでした。さっそく使ってみましたと思えます。色々勉強になります。楽しみが1つふえました。

(三原支所管内・83歳)

▼エコーブマーク品は食品以外に日用品もあり、豊富な品ぞろえですね。私も「らっきょう酢」や「むしパンミック」など愛用しています。

ナスが大好きでよく料理していますが、ナスの漬物が今イチです。簡単に出来るナスの漬物を教えて下さい。

(佐賀支所管内・70歳)

▼エコーブマーク品に「なすの漬物の素(浅漬用)」があり、簡単に短時間で作れておいしいのでおススメです。JAグリーン四万十店でもお買い求めできます。

春に車の免許をとり、ドライブが楽しみに安全運転しています。何気なく運転して外を眺めると畑、田んぼの景色が気持ちいいです。

(大月支所管内・19歳)

▼私も同感です。たくさんの田んぼが連なり壮大な景色は圧巻で、田んぼの景色で時の移り変わりや季節を感じます。

おたよりイラストコーナー



(宿毛支所管内・78歳)

INFORMATION

お知らせ

家の光新刊図書のご案内



●『私のいちばん得意な料理、教えます』
定価：1,760円(税込)

人気の家庭料理研究家6名が、自身の得意な料理を伝授！おいしく作るためのポイントとその理由を写真と文章で丁寧に解説。「基本のコツ」を学べば誰でも料理上手になれる。和洋中の定番おかずを幅広く掲載。



●『人気店のスパイスレシピ』
定価：1,650円(税込)

余らせがちなスパイスも普段の料理に加えると思いがけないおいしさに！インド・ヨーロッパ・中国・和食の名店のシェフが1種類のスパイスから作れる絶品のつまみとおかずを紹介。プロならではの使い方は必見。

『家の光』の購読始めませんか。

わたしの家の光 ミカタ

コロナで外出ができないので「家の光」をしっかり読んでいます。知らなかったことがいっぱい！

毎号興味のある特集が掲載され、読むほどに新発見が楽しくて喜ばれます。

家の光	定価(税込)
普通月号	629円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	922円
付録月号(雑誌付録付12月号)	1,027円

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ
JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区谷船河原町11
TEL 03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>